

狭山市市民会館
新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

令和3年12月
狭山市市民会館

目次

<u>〇はじめに</u>	1
1. 利用者を実施していただく事項	1
(1)利用の自粛・制限	1
(2)基本的な感染防止策の徹底	1
(3)施設利用チェックシートの提出等	2
2. イベント主催者を実施していただく事項	2
【イベント実施前の対策】	
(1)入場制限	2
(2)来場者への対応	2
(3)イベント主催者の対応	2
(4)イベント実施計画等の作成	3
【イベント当日の対応】	
(1)周知・広報	3
(2)来場者の入場時の対応	3
(3)会場内の感染防止策	3
(4)イベント主催者の感染防止策	4
(5)感染が疑われる者が発生した場合の対応策	4
(6)来場者の退場時の対応	4
(7)その他	4
【イベント実施後の対策】	
(1)施設退去時の対応	5
(2)適切な情報管理等	5
3. 利用内容に応じた利用人数(収容定員)の制限	5
(1)ホール	5
(2)控室、会議室等	6
4. 施設利用にあたっての留意点	6
(1)ホール	6
(2)リハーサル室	7
(3)展示室	7
(4)各控室、会議室、和室	7

〇はじめに

このガイドラインは、「狭山市公共施設における新型コロナウイルス感染症拡大防止の基本的なガイドライン」及び「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」(内閣官房新型コロナウイルス感染症対策本部)並びに「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」(公益社団法人全国公立文化施設協会)を踏まえ、狭山市市民会館における感染防止策として実施すべき基本的事項を示したものです。

なお、国等のガイドライン等に変更があった場合には、本ガイドラインを見直すことがあります。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、国から「緊急事態宣言」が発令された場合や「まん延防止等重点措置」が講じられた場合においては、本ガイドラインの定めによらず、施設の利用を制限する場合があります。

〈本ガイドラインにおける用語の定義〉

- ・利用者・・・施設の利用申請を行い、施設を利用する団体及びその団体の構成員等
- ・イベント主催者・・・施設で参加者を募るイベント等を主催する団体及びそのスタッフ等
- ・来場者・・・施設で開催されるイベント等に参加する者

1. 利用者に実施していただく事項

(1)利用の自粛・制限

- 風邪症状等(37.5度以上の発熱または平熱と比べて1度を超える発熱、のどの痛み、咳、強いだるさ、息苦しさ、味覚・嗅覚異常等の体調不良)がみられる場合は利用を自粛してください。
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合や過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航及び当該在住者との濃厚接触がある場合は利用を自粛してください。

(2)基本的な感染防止策の徹底

- 施設を利用する際は原則マスクを着用してください。
- 入館時、アルコール消毒液による手指消毒または石鹸による手洗いを実施してください。
- 施設利用の際には、ドアや窓を開けるなどして、適宜換気を行うとともに、利用者間のソーシャルディスタンス(1メートル以上を目安)を確保してください。
また、相互接触の機会(対面での会話や近距離での意見交換等)は可能な限り減らしてください。
- 利用した部屋の机やイス等の備品、ドアノブなど人が触れた部分の消毒を行ってください。

○施設内での飲食(水分補給を除く)は控えてください。飲食する場合は、黙食を徹底するとともに、食器類は使い捨ての紙製のものを使用するなど、感染防止策を講じてください。

○使用済みのマスクやごみは各自持ち帰ってください。

(3)施設利用チェックシートの提出等

○利用申請時に「狭山市市民会館 施設利用チェックシート」を市民会館に提出してください。

○利用者名簿を作成し、連絡先の把握に努めてください。また、利用者の中に感染が疑われる者が発生した場合には、保健所等の聞き取りに協力するとともに、必要な情報提供を行ってください。

2. イベント主催者に実施していただく事項

【イベント実施前の対策】

(1)入場制限

○イベント主催者は、イベントの企画にあたって、以下のような来場者の密集・密接を回避する対策を講じてください。

- ・座席指定による来場者数の調整
- ・開場から開演までの時間の延長(短時間に来場者が密集することを避けるため)
- ・分散入場の実施及び入場待機列の形成
- ・入場時のチケット確認の簡略化

○高齢者や持病のある方の来場が見込まれるイベントについては、感染した場合の重症化リスクが高いことから、より慎重な対応を検討してください。

(2)来場者への対応

○イベントごとに来場者の氏名、連絡先の把握に努めてください。また、これらの情報が必要に応じて保健所等の公的機関に提供されることがある旨を事前に来場者に周知してください。

○当日、自宅で検温を実施し、37.5度以上の発熱やその他の風邪症状に該当する場合は来場を控えるよう事前に周知してください。

○入場料等を徴収するイベントを実施する場合は、払い戻し処置等について、あらかじめ規定し、来場者に周知してください。

○イベント前後の感染防止に関する呼びかけ(直行・直帰の勧奨等)を実施してください。

(3)イベント主催者の対応

○イベントごとにスタッフの氏名、連絡先を名簿等で整理してください。また、これらの情報が必要に応じて保健所等の公的機関に提供されることがある旨を事前に全員に周知してください。

(4) イベント実施計画等の作成

○イベント主催者は施設管理者と協議の上、イベント実施計画書(様式任意)を作成し、スタッフ全員への周知徹底を図ってください。

※イベント実施計画書には、イベントの実施概要、来場者の動線、人員配置及び感染防止策を具体的に記入してください。

○イベント主催者は「感染防止策チェックリスト」(様式は埼玉県が定めるもの)を作成し、イベント主催者のホームページ等で公表してください。

※「感染防止策チェックリスト」の作成が必要となるイベント
利用施設や参加人数にかかわらず、参加者を募って開催するイベント

【イベント当日の対応】

(1) 周知・広報

○感染予防のため、来場者に対して以下の事項について周知してください。

- ・咳エチケットの順守
- ・マスク着用
- ・手指消毒、手洗いの徹底

※マスク未持参者に配付するマスク及び手指消毒用のアルコール消毒液等はイベント主催者が用意してください。

○来場者間のソーシャルディスタンスを確保するよう、来場者に周知してください。

○37.5度以上の発熱やその他の風邪症状に該当する場合は入場を控えるよう周知してください。

○出演者の入待ちや出演者への差し入れ等は控えるよう要請してください。

(2) 来場者の入場時の対応

○入場時に検温を実施し、37.5度以上の発熱やその他の風邪症状に該当する場合は入場しないよう要請してください。

○来場者間のソーシャルディスタンスを確保するため、来場者の誘導を行ってください。

(3) 会場内の感染防止策

○手指消毒や換気の徹底、マスク着用や会話抑制などの複合的な予防対策に努めてください。

○座席は指定席にするなどし、適切な感染防止策が講じられる配置にしてください。

○ステージと最前列の客席の間は十分な距離を確保するか、アクリル板等で遮蔽し、飛沫感染防止に努めてください。

○来場者間の会話や接触を控えるよう、適宜アナウンス等を実施してください。

○出演者と来場者が接触するような演出(来場者をステージに上げる、ハイタッチを行う等)は行わないでください。

○大声での声援等は行わないよう、適宜アナウンス等を実施してください。

○余裕をもった休憩時間を設定し、トイレなどで密集状況が発生しないよう努めてください。

(4) イベント主催者の感染防止策

○イベントの運営は必要最小限の人数で実施してください。

○各自検温を行い、37.5度以上の発熱やその他の風邪症状に該当する場合は、直ちに業務を終了させ、退館させてください。

○マスクの着用を徹底するとともに、公演時は出演者間で十分な距離をとってください。また、公演前後の手指消毒を徹底してください。

なお、イベントの性質上、出演者のマスク着用が困難な場合は、事前に施設管理者と協議の上、許可を得てください。

○仕込み、リハーサル及び撤去等については、十分な時間を確保し、密集状況が発生しないよう感染防止策を講じてください。

○控室等で飲食をする場合は、黙食を徹底するとともに、食器類は使い捨ての紙製のものを使用するなど、感染防止策を講じてください。

(5) 感染が疑われる者が発生した場合の対応策

○感染が疑われる者が発生した場合は、速やかに別室に移動し、隔離してください。

○対応するスタッフは、マスクや手袋の着用等、適切な防護対策を講じてください。

○感染が疑われる者が発生した場合は、速やかに施設管理者に報告するとともに、医療機関及び保健所へ連絡し、指示を受けてください。

(6) 来場者の退場時の対応

○余裕を持った退場時間を設定するとともに、エリアごとに時間差退場を行う等の対策を講じてください。

○出演者の出待ちや面会等は控えるよう要請してください。

(7) その他

○物販を実施する場合は、下記の事項を順守してください。

・「立ち位置に目印をつける」、「誘導員を配置する」など、来場者間のソーシャルディスタンスの確保を徹底する。

・マスクや手袋の着用等、対応するスタッフの適切な防護対策を徹底する。

・現金等の授受を行う場合は、トレーを使用する。

・見本品を置く場合は、不特定多数の人が触れないよう展示方法を工夫する。

○プログラム、チラシ類を配布する場合は、下記の事項を順守してください。

・机等にプログラム、チラシ類を配置することとし、手渡しをする場合は、マスクや手袋の着用等、対応するスタッフの適切な防護対策を徹底する。

【イベント実施後の対策】

(1)施設退去時の対応

- 利用した部屋の机やイス等の備品、ドアノブなど人が触れた部分の消毒を行ってください。
- 使用済みのマスクやごみは持ち帰ってください。

(2)適切な情報管理等

- 来場者の連絡先等については、個人情報保護の観点から十分な対策を講じた上で、主催者が必要期間管理してください。
- 感染が疑われる者が発生した場合、保健所等の聞き取りに協力するとともに、必要な情報提供を行ってください。

3. 利用内容に応じた利用人数(収容定員)の制限

狭山市民会館の各施設については、利用者の安全確保の観点及び「新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項に基づく要請」に基づき利用人数(収容定員)を以下のとおり制限します。

(1)ホール

施設名	利用人数の上限	
	「大声なし」に該当するイベント等で使用する場合 (定員の100%※)	「大声あり」に該当するイベント等で使用する場合 (定員の50%※)
大ホール	1,398人	699人
中ホール	878人	439人
小ホール	364人	182人

〈定義〉

利用人数(収容定員)が制限される「大声あり」のイベントとは

観客等が「通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」を大声とし、これを積極的に推奨する、または必要な対策を十分に施さないイベントのこと。

〈「大声」の具体例〉

- ・観客間の大声・長時間の会話
 - ・反復・継続的に行われる応援歌の合唱 など
- (一時的な歓声等は必ずしも「大声あり」には該当しない)

※ イベント等の内容によっては、舞台から客席までの距離を確保するため、利用人数の上限が定員の100%(または50%)にならない場合があります。(4. 施設利用にあたっての留意点 (1)ホールを参照)

(2)控室、会議室等

施設名	利用人数の上限 (定員の100%※1)
第1控室	4人
第2控室	4人
第3控室	4人
第4控室	10人
第5控室	4人
第6控室	2人
第7控室	15人
第8控室	15人
第9控室	20人
リハーサル室	—※2
展示室	—※2
第1会議室	12人
第2会議室	8人
第3会議室	16人
第4会議室	63人
第5会議室	42人
第6会議室	63人
第1和室	20人
第2和室	40人

※1 大声での発声、激しい呼気を伴う運動などが想定されない利用を前提とし、利用者間の距離を1メートル程度確保することを条件とします。

※2 利用者間の距離を1メートル程度確保して利用してください。なお、具体的な利用方法及び利用人数等については、事前に施設管理者と協議の上、決定してください。

4. 施設利用にあたっての留意点

(1)ホール

○「大声あり」に該当するイベント等で使用する場合は、座席の間隔を1席以上確保してください。

○出演者の発話・発声を伴うイベント等で使用する場合は、舞台から客席までの距離を2メートル以上確保してください。(出演者の発話・発声を伴うイベント等で小ホールを使用する場合は、施設の構造上、最前列の客席は使用不可)

○舞台上では、出演者間においても十分な距離(1メートル以上を目安)を確保するなど、

感染防止策を講じてください。

- 開演前後、休憩時間中にホワイエ等で来場者が密集・密接しないよう案内・誘導を行ってください。
- 開場、休憩時間に扉を開放し、こまめに換気を行ってください。また、公演中も可能な限り扉を開放し、換気を行ってください。
- 実施するイベント等の内容により、各団体(一般社団法人合唱連盟、公益社団法人日本ダンススポーツ連盟、クラシック音楽公演運営推進協議会、一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワーク等)が定めるガイドライン等を参照し、必要な感染防止策を講じてください。

(2)リハーサル室

- 利用者が密集・密接しないよう、一定の距離(1メートル以上を目安)を確保するとともに、基本的な感染防止策を講じた上で利用してください。
- 大声での発声や激しい運動などを伴う内容(合唱やダンスの練習等)で利用する場合は、各団体等が定めるガイドラインを参照し、必要な感染防止策を講じてください。

(3)展示室

- 利用者が密集・密接しないよう展示物等の配置を工夫し、動線を確保するとともに、基本的な感染防止策を講じた上で利用してください。

(4)各控室、会議室、和室

- 基本的な感染防止策を講じた上で利用してください。